

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標2_健康・福祉】

施策 2-1_健康づくりと医療体制の充実

基本計画		事業番号	細事業名称
2-01-01	地域と一体となった健康づくりの推進	04010_01	健康都市づくり推進事業
2-01-01	地域と一体となった健康づくりの推進	04010_02	健康ポイント助成事業
2-01-01	地域と一体となった健康づくりの推進	04089_01	保健センター整備事業
2-01-01	地域と一体となった健康づくりの推進	04247_01	骨髄バンクドナー支援補助金
2-01-01	地域と一体となった健康づくりの推進	04251_01	健康プログラム事業
2-01-02	こころと体の健康づくりの推進	04017_03	予防接種事業
2-01-02	こころと体の健康づくりの推進	04017_04	予防接種費用助成費補助金
2-01-02	こころと体の健康づくりの推進	04203_03	健康相談
2-01-02	こころと体の健康づくりの推進	04203_04	がん検診等
2-01-02	こころと体の健康づくりの推進	04203_06	人間ドック
2-01-02	こころと体の健康づくりの推進	04225_01	精神保健推進事業
2-01-02	こころと体の健康づくりの推進	04234_01	食育推進事業
2-01-02	こころと体の健康づくりの推進	04249_01	受験生予防接種助成事業
2-01-02	こころと体の健康づくりの推進	04259_01	新型コロナウイルス感染症予防ワクチン接種事業費
2-01-02	こころと体の健康づくりの推進	04259_02	新型コロナウイルス感染症予防ワクチン接種事務費
2-01-02	こころと体の健康づくりの推進	10569_01	小中学校フッ化物洗口事業
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04013_01	救急医療体制運営事業委託
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04013_02	休日夜間急患センター運営事業
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04013_04	休日夜間急患センター運営補助
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04070_01	大島診療所維持管理事業
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04070_02	大島診療所運営補助
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04172_01	休日夜間急患センター建設事業
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04173_01	別子山診療所維持管理事業
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04173_02	別子山診療所運営補助
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04242_01	新居浜市医師確保奨学金貸付事業
2-01-03	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	04255_01	新居浜市歯科衛生士確保奨学金貸付事業

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04010_01		
事業名(行目名称)		健康都市づくり推進費	細事業名	健康都市づくり推進事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	地域と一体となった健康づくりの推進	担当課	保健センター			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民		数値	117,439人		
	手段(どうやって)	「健康都市づくり推進員」として2年任期で73名を委嘱し、毎月研修会を開催し、地域の健康づくりリーダーとして育成する。健康寿命の延伸を目指して、関係機関が緊密に連携し、第2次元気プラン新居浜21後期計画及び第2次新居浜市食育推進計画を推進する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市民の健康寿命の延伸を目指して、健康都市づくり推進員を行政と地域を結ぶ「健康づくりリーダー」として育成し、住民主体の健康づくりを推進し、住民全体の健康意識の向上を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		681	664	664	196	報償費 162 消耗品費 358 通信運搬費 101 電算機使用料 56	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	681	664	664	196		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
推進員地域活動回数		目標値	500	500	250	500	500
		実績	557	414	54	108	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや低い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、健康都市づくり推進員研修会は10月までに予定していた6回中2回の開催に留まっており、地域への啓発活動も滞っている。今後は感染対策を徹底したうえで研修会や運動実技講演会を開催し、推進員を通じて幅広い世代へ効果的に生活習慣病予防の知識の啓発、ウォーキングマップを活用したウォーキングを推進する必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
ウォーキングマップは完歩賞の啓発やロコミ等により、令和2年度は2000部、今年度上半期は1,000部配布済み。そのため来年度に既存のマップを改定し2種1500部ずつ増刷する。またより歩きやすく魅力あるコースの選定のため、健康都市づくり推進員に依頼し新しいウォーキングコースを作成する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		C: 事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
令和3年度の研修会は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため7回休会し4回開催した。そのため、健康情報に関する提供が不十分で、それに伴い推進員の地域活動回数も減少している。また、推進員の高齢化が進行しており平均年齢は約70歳である。そのため現在は推進員から壮年期への健康情報の提供が課題となっている。さらに、研修会の参加率が54.5%と低く、推進員のモチベーションも様々で地域活動の状況にも大きな差が生じている。推進員が効果的に地域活動を続けるためには活動テーマを明確にし、推進員の適切な役割分担や活動の自主的な企画、運営、活動場所やそれを支援する体制が必要である。今後、関係課と調整したり、インターネットやSNS等を活用したりして効果的に健康づくりを推進するために事業の見直しが必要である。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	04010_02		
事業名(行目名称)		健康都市づくり推進費		細事業名	健康ポイント助成事業			
総合 計画	まちづくり	健康・福祉		施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	地域と一体となった健康づくりの推進		担当課	保健センター			
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	18歳以上の市民			数値	100,586人		
	手 段 (どうやって)	運動、減量、禁煙等の生活習慣改善や各種健診受診、健康講座等の健康づくりの取組に対しポイントを付与する。令和2年6月1日から、あかがねポイント事業に統合を図り、新規利用者の拡大と満足度の向上につなげる。						
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	各種健康づくり事業への参加をポイント化することにより、市民の健康意識の向上と健康づくりの取組の促進を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		3,745	880	880	190			
財 源	県・国支出金	0	0	0	0	会計年度任用職員報酬 43 消耗品費 9 負担金補助及び交付金 828		
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	3,745	880	880	190			
IV 指 標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
交換申請者数(～R2) ポイント付与件数(R3～)			目標値	1200	1000	1200	2500	2500
			実績	882	689	689	1893	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや低い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新型コロナウイルス感染症予防のために事業が中止したこと等をうけて、令和3年9月末時点のポイント発行件数は448件で、目標値の17.9%にとどまっている。また、ポイント付与率が低下している事業がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
令和元年度に実施したアンケート結果より、事業に参加することで健康への関心度が向上したと回答した人が8割以上、週2回以上の運動を実施するようになったと回答した人が約半数いることから、本事業に参加することで、市民の健康意識の向上と健康づくりの取組の促進に関して、一定の効果があつたと考えられる。新型コロナウイルス感染症予防のため中止になっている事業もあるが、今後も積極的に本事業の啓発を行うとともに、感染防止対策を講じながら実施できる健康づくり等について周知する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
けんしん受診や各種健康講座への参加、減量及び禁煙などの生活習慣改善などの取組に対してあかがねポイントの付与を行い、健康づくりの取組を促進した。令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、ポイント付与対象事業が休止となり、それに伴いポイント付与件数も目標値に達しなかった。今後も引き続き、他課と連携して事業の周知を行い、健康づくり無関心層も含めた住民に対して行動変容を促進していく。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	04089_01		
事業名(行目名称)		保健センター整備事業		細事業名 保健センター整備事業				
総合計画	まちづくり	健康・福祉		施策 健康づくりと医療体制の充実				
	基本計画	地域と一体となった健康づくりの推進		担当課 保健センター				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民			数値	117,439人		
	手段(どうやって)	市の建築課と協議し適切な補修ができるよう図った。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	保健センターの利用者が安全かつ快適に利用できるよう図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	空調設備改修工事 36,322千円		
経費		24,475	36,322	36,322	25,055			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	22,000	32,600	32,600	22,500			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	2,475	3,722	3,722	2,555			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
工事回数			目標値	1	2	2	1	0
			実績	1	2	2	1	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
保健センター築後、30年以上経過し、老朽化が進んでいるため、1、2階の空調設備改修工事を実施しているが、改善箇所はこの場所以外にもあり、建築住宅課と協議しながら、修繕工事を行いたい。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
保健センター築後、30年以上経過し、老朽化が進んでいるため、施設管理上、改善すべき箇所が出てきており、予算対応が必要である。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)		D:事業の統合・休廃止を検討				
保健センター築後、30年以上経過しており、老朽化が進んでいるため、今後も計画的に修繕工事が必要である。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04247_01		
事業名(行目名称)		骨髄バンクドナー支援費	細事業名	骨髄バンクドナー支援補助金			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	地域と一体となった健康づくりの推進	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民		数値	118,521人		
	手段(どうやって)	市内に住所を有し、公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業においてドナー登録している者のうち、骨髄等の提供をした者に、1回につき 100,000円 骨髄等を提供した者が従事している事業所に、1人につき 50,000円					
	目的(どんな状態にしたいのか)	骨髄または末梢血管細胞を提供する者に対して、助成金を交付することにより、ドナーの経済的負担を軽減し、骨髄の移植の推進及びドナー登録の増加を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		450	400	400	150	骨髄等の提供をした者(個人)1回につき100千円×3人 骨髄等を提供した者が就業している事業所1人につき50千円×2人	
財源	県・国支出金	225	200	200	75		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	225	200	200	75		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
骨髄等を提供した者		目標値	0	2	1	3	3
		実績	0	4	1	2	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
現時点では、申請者は1名であるが、骨髄等を提供する者の増加及び骨髄等移植の実現を図るために今後も事業を推進していく必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
骨髄バンクが実施する骨髄等移植事業は、国、県が推進している事業であり、血液疾患患者のために重要な事業である。今後一層の骨髄等移植の実現、拡大を図るために、今後も現状規模程度の事業継続が必要である。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
平成31年度より始まった事業であるが、今後もドナー登録者を増やしていくために助成及び周知啓発を継続していく必要がある事業である。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04251_01	
事業名(行目名称)		健康プログラム事業費	細事業名	健康プログラム事業		
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実		
	基本計画	地域と一体となった健康づくりの推進	担当課	保健センター		
II 事務事業の実施概要						
事務事業内容	対象(誰・何を)	20歳から74歳の市民等在勤の方		数値	77932人	
	手段(どうやって)	特に健康づくりに関心の低い就労層をメインターゲットとし、3~5人グループ単位で参加登録し、10月~3月の半年間、活動量計を用い歩数競争を行う。市内3か所に設置した専用のリーダーライターで定期的に歩数や消費カロリー、体組成を可視化し、健康ポータルサイトで競い合う。プログラム前後に体重や体組成の変化、アンケート調査による行動変容を評価する。そのほかバランス食などの食生活に関する情報を提供する。				
	目的(どんな状態にしたいのか)	若い世代(特に40~50歳代を重点対象者とする)が運動に取り組みやすい環境を整備し、運動習慣の定着や活動量の増加を図り、健康寿命の延伸に資する。				
III 投入費用						
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース
			当初予算額	年度末予算額	決算額	
経費		8,677	9,478	9,478	8,606	職員手当等 609 報償費 72 旅費 152 需用費 52 役務費 74 委託料 8,069 負担金補助及び交付金 450
財源	県・国支出金	5,998	8,384	8,384	5,685	
	地方債		0	0		
	その他	300	350	350	405	
	一般財源	2,379	744	744	2,516	
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度
参加者の週1回以上の運動実施率		目標値	0	0	0.65	0.65
		実績	0	0	0.644	0.613
V 事中評価						
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する			やや高い
<p>地方スポーツ振興費補助(国庫補助)を受け実施している事業であり、事業参加者は就労層を捉えており、運動の習慣化を得て、行動変容につながっている。事業実施については、実行委員会の中で検討を重ね、来年度以降の方向性について検討し、継続実施することとする。</p>						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持			
<p>地方スポーツ振興費補助が3年目となるが、補助申請を行い事業を継続実施するが、令和5年度以降の方向性については、実行委員会の中で検討していく。</p>						
VI 事後評価						
成果	総合評価(令和3年度)		B: 事業の進め方の改善検討			
<p>令和3年度新たに取り組んだ企業チャレンジでは、企業に出向いて実施することで、ターゲットの働き世代(平均年齢44.0±13.3歳)の参加を取り込むことができた。参加開始時、肥満だった参加者のBMIは参加後、有意に減少しており、肥満の改善につながった。また運動については、事業実施後「週1回以上運動している」と答えた者が、全体として22.7%増加した。令和4年度で地方スポーツ振興費補助対象となる最終年度予定(3年目)となるため、令和5年度以降の方向性については、実行委員会の中で検討していく。</p>						

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04017_03			
事業名(行目名称)		感染症等予防費	細事業名	予防接種事業				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実				
	基本計画	こころと体の健康づくりの推進	担当課	保健センター				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	乳幼児、児童、生徒、高齢者		数値	47.775			
	手段(どうやって)	予防接種法に基づきA類疾病、B類疾病ともに県内、市内の医療機関に委託し個別接種を実施した。A類疾病の定期接種は、予防接種手帳を生後2か月前に個人通知するとともに、未接種者には個別通知等接種勧奨を行った。B類疾病の高齢者肺炎球菌予防接種は、誤接種にならないよう対象者に接種券を個別通知し、65歳、70歳の未接種者に再通知を行った。また予防接種率の向上と感染症予防のため学校等に啓発文、市政だより、ホームページ、出前講座等で正しい知識と情報の提供に努めた。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	予防接種を実施することにより、感染症の蔓延を防ぐ。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		377,555	380,126	332,126	322,379	報酬 3,575 職員手当 674 共済費 714 需用費 116,334 委託料 255,203		
財源	県・国支出金	54,212	13,055	13,055	5,502			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	323,343	367,071	319,071	316,877			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
予防接種率(二種混合)			目標値	85	85	85	85	85
			実績	69.6	82.6	86	74.7	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
予防接種法に基づき、予防接種を実施することにより、伝染や感染の恐れのある疾病の蔓延を防止する。乳幼児を対象としたA類の予防接種については、未接種者に個別通知等接種勧奨を行っている。B類の予防接種については、コロナウィルス感染症の予防接種が始まり、接種間隔等、注意が必要である。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
令和4年度から、子宮頸がん予防接種が、積極的勧奨になると、風しん対策事業が1年延長になったことで予算が拡大する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
A類疾病の定期予防は、適正な時期に接種するように勧奨を行った結果、例年とほぼ横ばいの接種率となった。次年度も引き続き、予防接種の周知啓発を行い、接種率の向上に努める。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04017_04			
事業名(行目名称)		感染症等予防費	細事業名	予防接種費用助成費補助金				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実				
	基本計画	こころと体の健康づくりの推進	担当課	保健センター				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	県外で予防接種を受ける乳幼児で、予防接種費用助成の申請者		数値	53			
	手段(どうやって)	愛媛県外で定期予防接種を受ける場合、事前に「予防接種実施依頼書」を交付するため、それに合わせて予防接種費用助成について説明する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	子育て世代の経済的負担の軽減を図り、子どもの健康保持、感染症の発生および蔓延を予防する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		125	1,629	1,629	700	負担金補助及び交付金 1,629		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	125	1,629	1,629	700			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
県外予防接種補助金交付者数(実人数)			目標値	25	20	10	20	20
			実績	17	3	3	16	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
母親の里帰り出産等の理由で、県外で定期接種をする人は、年度により、増減の幅が大きいですが、標準的な時期に接種するように周知していきたい。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
新型コロナウイルス感染症の流行によって、里帰り出産の増減があるが、子育て世代の経済的負担の軽減と伝染病の蔓延予防のため、継続実施が必要な事業である。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
里帰り出産をする子育て世代の経済的負担を軽減し、定期予防接種の接種率向上に有効である。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04203_03		
事業名(行目名称)		健康増進対策費	細事業名	健康相談			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	こころと体の健康づくりの推進	担当課	保健センター			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	40歳以上の市民		数値	75,594人		
	手段(どうやって)	保健師・管理栄養士・歯科衛生士等の専門職による生活習慣病予防のための健康教育・健康相談を実施					
	目的(どんな状態にしたいのか)	生活習慣病予防等について、正しい知識の普及を図り自らの健康は自らが守るという認識と自覚を高め、壮年期からの健康の保持・増進に資する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		2,589	6,195	6,195	5,512	報酬 会計年度任用職員報酬 3,846 職員手当等 期末勤勉手当 492 共済費 各種保険料 703 報償費 講師謝礼 161 旅費 費用弁償 222 需用費 消耗品費 647 器具修繕料 50 役務費 通信運搬費 74	
財源	県・国支出金	226	1,064	1,064	660		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	2,363	5,131	5,131	4,852		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
健康教育・健康相談実施人数		目標値	3000	2000	2000	6000	6000
		実績	3232	638	209	6625	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや低い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する				
<p>新型コロナウイルス感染防止で健康相談を縮小したため、実施人数は減少している。今年度より体組成測定のほか血圧測定や歯科衛生士による歯科相談を実施しており、専門職による個別指導で、生活習慣病の見直しや発症予防に繋がっている。健康教育は実施について検討し、集団けんしんの待ち合いの時間を利用した健康教育として、がん検診の必要性や生活習慣病予防について伝えており、受診者の健康意識の向上に繋がっている。来年度は対象者を拡大するため、実施場所や方法を検討する必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえ、出前講座を活用するなどして65歳以下の利用者の拡大ができるよう、実施場所や方法を検討する。また、本市の健康課題の一つである高血圧対策を中心に、健康相談・健康教育を実施していく。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
<p>本市の健康課題解決のために一次予防の強化充実を図るため、成果指標の見直しを図り、健康教育・健康相談実施人数を新指標とした。新型コロナウイルス感染対策を講じつつ、肺がん・歯周疾患をテーマに医師講演会を開催し、がん予防等の正しい知識や検診の重要性等の普及啓発を行った。また集団健診の待ち時間を活用し減塩・バランス食に関する健康教育や、体組成計を活用した個別健康相談、出前講座等により、生活習慣病予防に関する正しい知識の普及啓発や個々の健康管理能力の向上につなげた。</p>							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04203_04		
事業名(行目名称)		健康増進対策費	細事業名	がん検診等			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	こころと体の健康づくりの推進	担当課	保健センター			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	40歳以上の市民、子宮頸がん検診は20歳以上の女性		数値	86,564人		
	手段(どうやって)	検診機関に業務委託し実施している。総合検診として、各がん検診、特定健診を同時に実施できるように、日程を設定する。また、休日検診の回数増設、検診場所の見直しを図る等、市民の利便性を考慮する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	がん等の生活習慣病やその危険因子を早期に発見し、適切な保健指導や早期治療に結びつけることにより生活習慣病等を予防する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		62,748	103,348	103,348	86,398	報酬 会計年度任用職員報酬 2,837 職員手当等 時間外勤務手当592 期末勤勉手当290 共済費 各種保険料 351 報償費 講師謝礼 30 旅費 費用弁償 51 需用費 消耗品費 158 印刷製本費 764 役務費 通信運搬費 4,055 手数料 218	
財源	県・国支出金	876	2,412	2,412	4,502		
	地方債		0	0			
	その他	0	1	1	0		
	一般財源	61,872	100,935	100,935	81,896		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
集団けんしん受診者数		目標値	8600	6000	4000	8000	8000
		実績	9301	6575	2844	7803	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一部日程を中止・縮小で実施したため、受診者数は減少しているが、昨年度と比較し増加している。受付時間の細分化、体調確認のスタッフの配置やマスクの着用・手指消毒の徹底等、感染予防対策を図りつつ実施をすることができている。課題としては、コロナ禍での受診控えをしている方々へハガキやロビー展などを活用し検診の必要性の理解促進を図り、安心・安全に受けてもらえるように周知啓発を行う必要がある。また、R3年9月からWeb予約が開始され、働く世代にも手軽に予約しやすい環境を整えてい</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>健康寿命の延伸、がんによる死亡の減少を図るため、国の動向、新型コロナウイルス感染症の状況などをみながら感染予防対策を重視し、円滑で安心・安全に受診できる体制を整え、継続的に事業を実施する。電話・窓口の申し込みだけでなく、Web予約やQRコードを記載したけんしんカレンダーやちらしなどを活用し、効果的に周知し、特に新規受診者や若い世代の受診率向上を図る。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施し、前年度より受診者数は増加した。市民の利便性向上のため、WEB予約を導入し、24時間予約可能な体制を整備した。今後のがんの早期発見、早期治療、健康管理を目的とし、安心、安全に事業が実施できるよう努めるとともに、特に若い世代の新規受診者やコロナ禍で受診控えの市民に受診してもらえるよう、学校、職域、地域等と連携し、効果的な広報活動を展開する。また引き続き、精密検査対象者の受診率向上や未把握者の減少にも取り組む。成人歯周病検診については、委託医療機関へ対象者について周知し適正受診につなげた。</p>							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04203_06			
事業名(行目名称)		健康増進対策費	細事業名	人間ドック				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実				
	基本計画	こころと体の健康づくりの推進	担当課	保健センター				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	30歳以上の新居浜市民		数値	87339人			
	手段(どうやって)	新居浜市医師会へ委託して実施。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	循環器疾患及びがん等について、早期発見・早期治療のみならず適切な事後指導を実施し市民の健康づくりに役立てる。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		7,042	10,283	10,283	8,578	健康診査等委託料 10,283		
財源	県・国支出金	0	13	13	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	270	0	0	0			
	一般財源	6,772	10,270	10,270	8,578			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
受診者数			目標値	500	350	350	350	300
			実績	269	253	131	292	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや低い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度は検査項目の縮小や検査回数の減少などがあったが、今年度は感染予防対策を講じながら予定通り実施できている。受診者からの要望も高いためこのまま継続する。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら、安全に実施できる回数、人数について新居浜市医師会と協議する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
新型コロナウイルス感染者増のため一部日程を中止したが、感染対策を講じたうえで事業を再開し、受診者数は前年度よりも増加した。今後も感染対策を徹底しつつ事業を継続し、医師会と協議して市民が利用しやすい健診受診体制を整え、生活習慣病予防に資する。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04225_01			
事業名(行目名称)		精神保健推進費	細事業名	精神保健推進事業				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実				
	基本計画	こころと体の健康づくりの推進	担当課	保健センター				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	18歳以上の市民	数値	100586人				
	手段(どうやって)	①ロビー展示や健康教育を通して、心の健康づくりに関する正しい知識の普及啓発を行う。 ②心の健康相談など専門家による相談の場を設ける。 ③地域での見守り体制を充実させるため、ゲートキーパー養成を行う。 ④精神障害者家族教室を開催し当事者家族のサポートを行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	市民が自分に合ったストレス解消方法を見つけ、心の不調を感じた場合は、必要に応じて専門家に相談できるよう相談支援体制を充実させる。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		587	466	466	417	報償費 医師謝礼 155 講師等謝礼 117 旅費 費用弁償 7 需用費 消耗品費 169 役務費 通信運搬費 13 負担金補助及び交付金 5		
財源	県・国支出金	290	196	196	177			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	297	270	270	240			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
こころの健康教育・相談の参加者数			目標値	700	700	350	350	350
			実績	778	298	151	342	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	手段を改善する					
新型コロナウイルス感染症の影響で、家族教室の中や・ゲートキーパー養成講座の延期、出前講座等の減少により、参加者数が減少した。オンラインを利用したこころの相談や講演会の実施の検討、自治会回覧を利用するなどチラシを媒体としたこころの健康づくりへの啓発活動、少人数向けの出前講座の周知・実施など、感染対策を行いながら、広く市民に周知啓発ができる手段を検討する必要がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
現状の事業の継続に加え、令和4年度は自殺予防のための若年者のメンタルヘルス対策として、「独り立ちサポートブック」を2年毎に2年分作成するための予算が必要である。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
家族教室や出前講座、ゲートキーパー養成講座は、場所の変更や定員の縮小をして感染症対策を講じながら計画通りを実施できた。こころの相談については、感染症対策として、ZOOMを利用したオンライン相談を実施した。ゲートキーパー養成講座は、就労層を含む一般市民や、市職員を対象に実施し、自殺予防に関する知識や、ゲートキーパーとしての役割について理解を深めることができた。また、自殺予防について広く市民に周知啓発するために、SNSやHPを通じた情報発信や、市役所や図書館ロビー展などで周知啓発を行った。今後は、学校や商工会議所など、さまざまな世代に対して、自殺予防を含めた心の健康の周知啓発に取り組んでいく。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04234_01		
事業名(行目名称)		食育推進事業費	細事業名	食育推進事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	こころと体の健康づくりの推進	担当課	保健センター			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民	数値	118521			
	手段(どうやって)	栄養士、保健師、食生活改善推進員による、健康教育・健康相談やバランス食に関する講義及び調理実習					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市民一人一人が生涯を通じて健全な食生活を送り、健康で豊かに過ごすことができるようにライフステージに応じた食育講座を開催する。特に近年問題となっている若い世代の食に関する知識、調理技術の低下、朝食等の欠食に対応するために講義と調理実習を行う食育講習会を実施する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		384	2,645	2,645	750	講師等謝礼 1,196(千円) 栄養実習費等消耗品費 1,331(千円)	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	384	2,645	2,645	750		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
幼児食育事業参加者数		目標値	835	775	773	750	850
		実績	806	772	772	821	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
新型コロナウイルス感染症予防のため、中止となる事業もあるが状況に応じて内容を変更し、広く市民に食育推進事業を展開する。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
新型コロナウイルス感染症予防のため、中止となる事業もあるが状況に応じて内容を変更し、広く市民に食育推進事業を展開する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、集団での講義や調理実習などが難しくなっており、個別の栄養相談や、写真付きのレシピの配布などを行った。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04249_01			
事業名(行目名称)		受験生予防接種助成費	細事業名	受験生予防接種助成事業				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実				
	基本計画	こころと体の健康づくりの推進	担当課	保健センター				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	中学3年生・高校3年生相当の者		数値	2200			
	手段(どうやって)	対象者には、助成券を個別通知し、医療機関で接種する。接種後は、医療機関が設定した接種料金から、1,000円を差し引いた金額を支払う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	進学等で人生の大切な節目を迎える中学3年生及び高校3年生の年齢に相当する者を対象に、任意で実施するインフルエンザ予防接種費用の一部を助成し、子育て世代へに経済的支援を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		1,454	1,946	1,946	1,260	委託料 415 負担金補助及び交付金 1,166		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
一般財源		1,454	1,946	1,946	1,260			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
予防接種率			目標値	50	50	50	50	0
			実績	43.2	43.9	0	31.3	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや低い	有効性	やや低い	効率性	やや低い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	休止・廃止する					
対象者には、助成券を個別通知し、ホームページや市政だより、学校に事業の周知を行ったが、予防接種率が43%と、目標である50%には届いていない。インフルエンザ予防接種については、任意接種のため、定期予防接種のように積極的な勧奨ができない。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止					
新型コロナウイルス感染症の予防として、マスク着用、手洗い、手指消毒、換気等の啓発で、昨年は新居浜市内でのインフルエンザが発生がなかった。また、新型コロナウイルス感染症の予防接種が12歳以上のため、接種間隔等の問題もあり、今後は、感染症予防の方を重点的に啓発し、受験生予防接種については、廃止したい。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		D:事業の統合・休廃止を検討					
子育て世代への経済的支援として、18歳年度末まで子どもの医療費が無料になったため、受験生インフルエンザ予防接種助成事業については、廃止する。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04259_01		
事業名(行目名称)		新型コロナウイルス感染症予防ワクチン接種費	細事業名	新型コロナウイルス感染症予防ワクチン接種事業費			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	こころと体の健康づくりの推進	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	12歳以上の市民	数値	106565			
	手段(どうやって)	個別接種を主体に集団接種で補完し、対象者へのワクチン接種を推進する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	対象者である市民がスムーズに接種ができる体制づくりを整備することにより、接種が推進され新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	予防接種委託料 351,464	
経費		0	351,464	599,164	410,695		
財源	県・国支出金	0	351,464	599,164	408,437		
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	2,258		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
接種人数(2回完了者数)		目標値	0	0	106565	106565	3000
		実績	0	0	78437	93175	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
<p>国が示す接種順位に従い12歳以上の市民に接種券を発送し、個別接種を主体に集団接種で補完し接種を進めてきた。約85,000人の市民が予約または接種済みであり、今後は接種を迷っていた人や転入者、12歳になった市民に対して接種機会の確保が必要となってくる。今後は、国が3回目接種の方向性を示しており、追加接種の体制構築が必要となってくる。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>今後の国の動向によるが、1・2回目接種と追加接種が混在し実施するようになると思われる。追加接種については1回のみ接種のため接種費は約半分になるが、時間外加算が継続されるための予算も必要となる。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
<p>令和3年度中は、個別接種を主体に集団接種で補完しながら、初回接種及び第1期追加接種(3回目接種)を実施した。3回目接種については、若い世代を中心に伸び悩みが見られるが、様々な広報手段による啓発活動や、金曜夜間・休日など幅広い接種機会の提供により、地道な接種を進めていくことが肝要であり、第2期追加接種(4回目接種)やオミクロン株対応ワクチン接種(5回目接種)の実施と合わせ、引き続き、計画通りに事業を進めていくこととする。</p>							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04259_02		
事業名(行目名称)		新型コロナウイルス感染症予防ワクチン接種費	細事業名	新型コロナウイルス感染症予防ワクチン接種事務費			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	こころと体の健康づくりの推進	担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	12歳以上の市民	数値	106565			
	手段(どうやって)	ワクチン接種は、接種券の郵送・予約・接種・予防接種状況管理等の一連の流れで接種を進めていくためには、医療機関を含め、他機関との調整及び委託契約により円滑な実施に努める。また、接種率向上のためには市民に対し適切な情報の周知や予約支援等のサポートが必要となってくる。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	対象者である市民がスムーズに接種ができる体制づくりを整備することにより、接種が推進され新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		19,537	54,053	366,509	326,543	給料 3,730千円 職員手当等 1,290千円 共済費 736千円 需用費 400千円 役務費 520千円 委託料 45,877千円 使用料及び賃借料 1,000千円 備品購入費 500千円	
財源	県・国支出金	19,537	54,053	366,509	326,498		
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	45		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
接種率		目標値	0	0	100	100	90
		実績	0	0	73.6	87.4	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
<p>国が示す接種順位に従い12歳以上の市民に接種券を発送し、個別接種を主体に市集団接種で補完し接種を進めてきた。約82%の市民が予約または接種済であり、今後は接種を迷っていた人や転入者、12歳になった市民に対しての接種機会の確保が必要となってくる。今後は、国が3回目接種の方向性を示しており、追加接種の体制構築が必要となってくる。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>今後の国の動向によるが、1・2回目接種と追加接種が混在し実施するようになると思われる。追加接種については1回のみ接種であるが、接種券発送や予約システム、市民への周知啓発、関係機関との調整は令和3年度と同様に必要になってくる。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>初回接種、第1期追加接種(3回目)と、国の方針に従い、接種券の作成及び発送、予約相談コールセンターの開設など、円滑な接種体制の構築を図り、事業を進めることができた。令和4年度も第2期追加接種(4回目接種)やオミクロン株対応ワクチン接種(5回目接種)の接種促進のため、関係機関との調整を図りながら、万全の体制確保に努めていくこととする。(なお、成果指標の接種率については、初回接種完了者を示しており、アレルギー等の体質や信条等により接種されない方も一定数おられることから、令和4年度の目標値を下方修正する。)</p>							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	10569_01	
事業名(行目名称)		小中学校保健充実費	細事業名	小中学校フツ化物洗口事業		
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実		
	基本計画	こころと体の健康づくりの推進	担当課	学校教育課		
II 事務事業の実施概要						
事務事業内容	対象(誰・何を)	市内小学校児童及び西中、泉川中、船木中、ひびき分校、角野中、別子中生徒	数値	22校		
	手段(どうやって)	各学校で実施するフツ化物洗口に伴う、洗口薬剤や紙コップ等の購入にかかる必要経費を負担する。				
	目的(どんな状態にしたいのか)	学校において集団で定期的にフツ化物洗口を実施することにより、広範囲で習慣的なむし歯予防が推進できるとともに、児童・生徒自身のむし歯予防に対する継続的な意識啓発を図る。				
III 投入費用						
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース
			当初予算額	年度末予算額	決算額	
経費		833	1,650	1,650	648	
財源	県・国支出金	56	226	226	84	
	地方債		0	0		
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	777	1,424	1,424	564	
消耗品購入費 241 洗口薬剤・紙コップ購入費 1,409						
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度
12歳児の1人平均むし歯数(本)DMFT指数		目標値	1	1	1	1
		実績	1.3	1.7	-	1.6
						-
V 事中評価						
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する			
<p>平成30年度まで小学校のみで実施していたが、令和元年度からは中学校4校(船木中、ひびき分校、角野中、別子中)、令和2年度からは北中学校、令和3年度からは泉川中学校で開始しており、今後も感染症対策に十分注意を払いながら、適切な実施に向けた実施方法を定着させていく必要がある。</p>						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持			
<p>新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、実施していても一時中断する等、感染状況による影響を受ける要素はあるが、令和3年度の2学期以降、様子を見ながら、各学校の判断により、実施を再開している。新規実施校も含めて、引き続き、感染症対策に十分注意を払いながら実施する。また、フツ化物洗口に使用する器具類の耐久年数は5年程度であり、計画を立て、定期的な更新を行っていく必要がある。</p>						
VI 事後評価						
成果	総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当				
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度も実施を見送った学校も多くあったが、愛媛県においてもフツ化物洗口によるむし歯予防が積極的に推奨されており、今後も引き続き感染症対策に十分注意しながら、各学校において安全に実施する方法を模索し、円滑な実施に努める。</p>						

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04013_01			
事業名(行目名称)		救急医療体制整備費	細事業名	救急医療体制運営事業委託				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実				
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	担当課	健康政策課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民	数値	118,521人				
	手段(どうやって)	新居浜市医師会と委託契約し、事業が円滑に行われるよう調整をはかる。救急医療体制の役割を明確化し、一次、二次、三次の各機能が遂行できるように、市民に対する啓発活動を行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	一次、二次の役割を明確化し、新居浜市における救急医療体制の維持確保を目指す。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		3,834	4,190	4,190	4,180	在宅当番医制運営事業委託料 4,180		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	3,834	4,190	4,190	4,180			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
外科当番医診療人数			目標値	800	800	400	800	800
			実績	793	741	386	732	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
休日における一次救急医療を提供し、市民の安全・安心な生活に繋げると共に、救急医療の適正利用の修理啓発に努める。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
在宅当番医制により、日曜、祝日の外科の診療を行っている。今後も実施していく。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
顕在化している出務医師不足等の問題はありますが、在宅外科当番医制運営事業を継続して実施し、市民の安全安心な生活を確保する必要がある。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04013_02			
事業名(行目名称)		救急医療体制整備費	細事業名	休日夜間急患センター運営事業				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実				
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	担当課	健康政策課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民		数値	121,211人			
	手段(どうやって)	新居浜市医師会と協議しながら、初期救急事業が円滑に運営できるように維持管理の調整を行った。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	新居浜市における一次救急医療体制の確保を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		1,485	1,977	1,977	1,476	急患センター建物賃貸借料 1,290		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	1,485	1,977	1,977	1,476			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
施設整備			目標値	1	1	1	1	1
			実績	1	1	1	1	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
賃貸借再契約は実施済み。施設の老朽化への対応として、急患センター建替えが急務となる。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
一次救急である休日夜間急患センターを維持し、適正に管理することで、市民の安心安全を確保する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
市民の安心安全のため、一次救急である休日夜間急患センターを適正に管理し、救急診療業務を継続する必要がある。また、施設が老朽化しており、建替えが必要である。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04013_04	
事業名(行目名称)		救急医療体制整備費	細事業名	休日夜間急患センター運営補助		
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実		
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	担当課	健康政策課		
II 事務事業の実施概要						
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民	数値	121,211人		
	手段(どうやって)	新居浜市医師会と協力し、事業が円滑に行われるよう調整を図る。救急医療体制の役割を明確化し、一次、二次、三次の各機能が遂行できるよう、市民に対する啓発活動を行う。				
	目的(どんな状態にしたいのか)	一次、二次の役割を明確化し、新居浜市における救急医療体制の維持確保を目指す。				
III 投入費用						
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)		令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	
経費		116,674	74,948	121,380	111,862	
財源	県・国支出金	53,000	0	46,432	35,976	
	地方債		0	0		
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	63,674	74,948	74,948	75,886	
休日夜間急患センター運営補助 74,948						
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度
休日夜間急患センター診療日		目標値	365	365	183	365
		実績	365	365	183	365
V 事中評価						
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する			高い
休日・夜間における一次救急を提供し、市民の安心安全な生活に繋げると共に、救急医療の適正利用の周知啓発に努める。						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持			
救急医療体制整備のため、今後も運営費用に係る赤字分を補助する。						
VI 事後評価						
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
顕在化している出務医師不足等の問題はありますが、休日夜間急患センター事業を継続して実施し、市民の安心安全な生活を確保する必要がある。						

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	04070_01	
事業名(行目名称)		大島診療所管理費		細事業名 大島診療所維持管理事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉		施策 健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保		担当課 健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	大島地区住民			数値	200人	
	手段(どうやって)	大島診療所管理運営補助金を新居浜市医師会に補助し運営するにあたり、診療所の清掃業務を地元婦人会に委託し、急患搬送業務を自治会に委託した。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	大島診療所業務が円滑に運営でき、大島地区市民の地域医療の確保と健康を守る。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		639	762	762	640	大島診療所清掃等業務委託料 473 大島急患船搬送業務委託料 60	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	639	762	762	640		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
施設数			目標値	1	1	1	1
			実績	1	1	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
台風等により、渡海船が運航停止になり、診療ができない場合などへの対策が必要である。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
離島における市民の健康管理のために必要不可欠な医療施設であるため、引き続き、維持管理が必要である。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
大島地区住民の健康管理のため、開設している大島診療所において、診療業務が円滑に実施できるように診療所の維持管理を適正に行う必要がある。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04070_02			
事業名(行目名称)		大島診療所管理費	細事業名	大島診療所運営補助				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実				
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	担当課	健康政策課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	大島地区住民		数値	200人			
	手段(どうやって)	大島診療所管理運営補助金を新居浜市医師会に補助し、週2回の診療(内科、外科各1回)を確保する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	大島地区住民の健康管理のため、診療所の維持管理を適正におこなう。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		5,775	7,170	7,170	5,504	大島診療所管理運営補助金 7,170		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	5,775	7,170	7,170	5,504			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
診療日			目標値	101	50	25	50	51
			実績	96	50	25	51	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
島民の減少及び高齢化により診療所は赤字ではあるが、健康管理に重要な医療施設であるため維持は必要である。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
島民の健康管理のため、新居浜市医師会が開設する大島診療所は不可欠である。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
地域医療の拠点を維持するため、地域住民の減少等による診療所の赤字分を補助金として補填することにより、新居浜市医師会による大島診療所を維持する必要がある。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04172_01			
事業名(行目名称)		休日夜間急患センター建設事業	細事業名	休日夜間急患センター建設事業				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実				
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	担当課	健康政策課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市民		数値	121,211人			
	手段(どうやって)	現在の休日夜間急患センターは、昭和45年に建設されており、老朽化等により、長期間の使用には耐えられない。休日夜間急患センターは、本市一次救急を担う重要な施設であることから、建替えに向けて進めていく。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	休日夜間急患センターを整備することにより、新居浜市における一次救急医療体制の確保を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		0	17,164	17,164	3,100	設計委託料 17,164		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	0	12,800	12,800	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	0	4,364	4,364	3,100			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
施設数			目標値	0	0	1	1	1
			実績	0	0	1	1	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する					
令和3、4年度に基本設計・実施設計、令和4、5年度に建設工事を行う予定としていることから、引き続き医師会、関係各課、地権者との協議が必要となってくる。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
基本設計・実施設計を行った後、令和4、5年度に建設工事費が必要となってくる。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
基本設計・実施設計を行った後、令和5年度中に新しい急患センターでの診療が開始できるよう早期の工事着手に向けて進めていく必要がある。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	04173_01	
事業名(行目名称)		別子山診療所管理費		細事業名 別子山診療所維持管理事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉		施策 健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保		担当課 健康政策課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地区住民			数値	150人	
	手段(どうやって)	診療業務を新居浜市医師会に委託し、またその後の保健指導を保健師活動に結びつける。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子山地区の住民の健康管理に努め、地域医療・保健サービスの拠点とする。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	通信運搬費 36	
経費		33	36	36	33		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	33	36	36	33		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
施設数			目標値	1	1	1	1
			実績	1	1	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
別子山地区の地域医療の拠点であり、診療業務を円滑に実施するため適正管理を行う必要がある。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
別子山地区における市民の健康管理のために必要不可欠な医療施設であるため、引き続き、維持管理が必要である。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
別子山地区の地域医療の拠点であり、診療業務を円滑に実施するため適正管理を行う必要がある。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04173_02			
事業名(行目名称)		別子山診療所管理費	細事業名	別子山診療所運営補助				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実				
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	担当課	健康政策課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地区住民		数値	150人			
	手段(どうやって)	診療業務を新居浜市医師会に委託し、月4回(内科3回、外科1回)の診療業務を確保する。またその後の保健指導を保健師活動に結びつける。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子山地区の住民の健康管理に努め、地域医療・保健サービスの拠点とする。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	別子山診療所管理運営補助金 7,820		
経費		6,047	7,820	7,820	6,143			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	4,000	4,000	4,000	4,000			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	2,047	3,820	3,820	2,143			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
診療日			目標値	51	51	24	50	47
			実績	48	49	24	49	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
別子山地区の人口減少及び高齢化により診療所は赤字ではあるが、健康管理に重要な医療施設であるため維持は必要である。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
別子山地区の健康管理のため、新居浜市医師会が開設する別子山診療所は不可欠である。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
別子山地区の地域医療の拠点を維持するため、地区人口の減少等による赤字分を補助金として補填することにより、新居浜市医師会による別子山診療所を維持する必要がある。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	04242_01		
事業名(行目名称)		新居浜市医師確保奨学金貸付事業費		細事業名	新居浜市医師確保奨学金貸付事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉		施策	健康づくりと医療体制の充実			
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保		担当課	健康政策課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	奨学金貸付申込者			数値	1人/年		
	手段(どうやって)	市内の医療機関で働く意志のある医学部生に入学又は修学に要する資金貸し付け、一定の期間、市内の医療機関で勤務することにより奨学金の返還を免除する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	市内の医療機関で勤務する若い医師を確保する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	医師確保奨学金貸付金 7,700千円		
経費		5,300	7,700	10,600	10,164			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	5,300	7,700	10,600	10,164			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
貸付人数			目標値	3	3	1	1	1
			実績	0	1	1	2	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
当初予算での募集人員1名に対し2名の応募があったため、12月補正で対応し、2名の奨学生確保を目指す。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
医師の高齢化と不足を解消のため、医師確保事業を継続する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
令和3年度は2名の新規奨学生を確保した。毎年コンスタントに奨学生を確保できるよう、今後も所得要件の緩和について研究を続ける。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	04255_01			
事業名(行目名称)		新居浜市歯科衛生士確保奨学金貸付事業費	細事業名	新居浜市歯科衛生士確保奨学金貸付事業				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	健康づくりと医療体制の充実				
	基本計画	救急体制の維持・強化と地域医療の確保	担当課	健康政策課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	修学資金貸付申込者		数値	5人/年			
	手段(どうやって)	市内の歯科衛生士の養成施設に在学する方に、修学資金を貸し付け、一定の期間、市内の歯科医院で勤務することにより、資金の返還を免除する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	市内の歯科医院で勤務する歯科衛生士と地域医療の充実、高校卒業後の新たな選択肢として若年層の転出抑制、定住促進を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	歯科衛生士修学資金貸付金 1,200千円		
経費		0	1,200	1,200	840			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	120			
	一般財源	0	1,200	1,200	720			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
貸付人数			目標値	0	0	5	5	5
			実績	0	0	4	3	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
募集人員5名に対し、申込のあった4名に貸付を決定した。他に該当者はいなかったため追加募集は行わなかった。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
市内の歯科衛生士不足の解消と地域医療の充実を図るため、事業を継続する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		B:事業の進め方の改善検討					
募集人員に満たないので、募集人員を確保するため、申請の受付期間、決定時期等を見直す。								